

# 巻末資料 用語解説

## あ行

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| ■ ICT<br>あいしーていー               | 情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称のこと。Information and Communication Technology の頭文字。      |
| ■ アセットマネジメント<br>あせつとまねじめんと     | 資産の管理を意味し、水道事業においては、「中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたり、効率的・効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動」を指す。 |
| ■ RC造<br>あーるしーぞう               | 鉄筋コンクリートの略であり、配水池等の構造物の形式の一つ。Reinforced Concrete の頭文字。                                |
| ■ 一日最大給水量<br>いちにちさいだいきゅうすいりょう  | 一年間の内、最も給水量が多くなる一日の給水量。   |
| ■ 一日平均給水量<br>いちにちへいきんきゅうすいりょう  | 年間の総給水量を年日数で除したもの。  |
| ■ 一日平均配水量<br>いちにちへいきんはいすいりょう   | 年間の総配水量を年日数で除したもの。  |
| ■ 一日平均有収水量<br>いちにちへいきんきゅうすいりょう | 水道料金の対象となる一日平均の給水量。   |
| ■ 営業費用<br>えいぎょうひよう             | 事業活動により生じる費用。水道施設を維持管理するための費用。  |
| ■ SP<br>えすぴー                   | 鋼管を表す記号。Steel Pipe の頭文字。  |
| ■ 応急給水<br>おうきゅうきゅうすい           | 地震等により水道施設が破損し、水道による給水がなくなった場合、拠点給水、運搬給水及び仮設給水などにより給水することをいう。                         |
| ■ 応急復旧<br>おうきゅうふっきゅう           | 地震や豪雨などにより水道施設が被災し、水道による給水が不可能になった場合に、給水を早期に再開するための復旧作業。                              |
| ■ OJT<br>おーじえていー               | 職場において、実務を通じて行う教育訓練のこと。On the Job Training の頭文字。                                      |

## か行

<p>■ <b>拡張事業</b> かくちょうじぎょう</p>	<p>人口増加による計画給水量の増加などに伴い、水源、浄水場、配水池及び水道管路などを増設・改良すること。</p>
<p>■ <b>機械・電気設備</b> きかい・でんきせつび</p>	<p>浄水場にある各種施設を分類するための用語。 浄水場のポンプ設備、次亜塩素注入設備、受電・配電設備、自家発電設備等の総称。 自家発電設備：電力会社から供給を受ける電力とは別に、停電時などに施設内で必要な電力量を自己で賄うための発電設備。</p>
<p>■ <b>基幹管路</b> きかんかんろ</p>	<p>導水管、送水管、配水本管を指す。水道管路網のうち、特に重要な管路のこと。</p>
<p>■ <b>基幹施設</b> きかんしせつ</p>	<p>取水場、浄水場、配水場を指す。地震などの災害において、施設が破損すると、市民生活に重大な影響をもたらす可能性がある施設のこと。</p>
<p>■ <b>企業債</b> きぎょうさい</p>	<p>地方公営企業が行う建設改良事業等に要する資金に充てるために起こす地方債。</p>
<p>■ <b>企業債償還金</b> きぎょうさいしょうかんきん</p>	<p>企業債の発行後、各事業年度に支出する元金の償還額または一定期間に支出する元金償還金の総額をいい、地方公営企業の経理上、資本的支出として整理される。</p>
<p>■ <b>給水</b> きゆうすい</p>	<p>水道事業者が設置、管理している水道施設から需要者へ必要な水質と水量の水を供給すること。</p>
<p>■ <b>給水拠点</b> きゆうすいきよてん</p>	<p>災害時に直接給水を行う場所。給水車、給水タンク、ポリ容器等への注水を行う。</p>
<p>■ <b>給水区域</b> きゆうすいきいき</p>	<p>水道事業者が厚生労働大臣の認可を受け、一般の需要に応じて給水サービスを行うとした区域。</p>
<p>■ <b>給水区域内人口</b> きゆうすいきいきないじんこう</p>	<p>厚生労働大臣の認可を受け、需要に応じて給水を行うこととした区域内の居住人口。</p>
<p>■ <b>給水原価</b> きゆうすいげんか</p>	<p>1 m<sup>3</sup>当たりの水道水を供給するための費用。</p>
<p>■ <b>給水収益</b> きゆうすいしゅうえき</p>	<p>水道事業会計における営業収益の一つで、公の施設としての水道施設の使用について徴収する使用料をいう。水道事業収益のうち、最も重要な位置を占める収益である。通常、水道料金として収入となる収益がこれに当たる。</p>

<p>■ 給水人口 きゅうすいじんこう</p>	<p>給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口。</p>
<p>■ 給水制限 きゅうすいせいげん</p>	<p>取水制限により取水量（受水量）が確保できない時に、給水量を減らすこと。</p>
<p>■ 給水量 きゅうすいりょう</p>	<p>給水区域内の需要に応じて給水した水量。</p>
<p>■ 急速ろ過 きゅうそくろか</p>	<p>濁った原水に薬品を注入して濁りの成分を凝集・沈殿・除去した後、最後にその上澄水を砂層などでろ過する。緩速ろ過と比較すると、ろ過速度が約 150m/日であることから「急速ろ過」とよばれる。</p>
<p>■ 供給単価 きょうきゅうたんか</p>	<p>利用者からいただいた給水収益の 1 m<sup>3</sup>当たりの平均単価。</p>
<p>■ 凝集沈殿 ぎょうしゅうちんでん</p>	<p>急速ろ過方式における前処理方法のことで、凝集剤という薬品によって濁質を補足し、フロック（微小な粒子の固まり）へと変える「凝集」と、凝集によって大きくかつ重く成長したフロックの大部分を沈殿池で沈降分離する「沈殿」の工程を合わせた処理をいう。</p>
<p>■ 行政区域 ぎょうせいくいき</p>	<p>行政を行う上での地域割りの単位。都・道・府・県・市・区・町・村がある。</p>
<p>■ 業務継続計画（BCP） ぎょうむけいぞくけいかく</p>	<p>自然災害などの緊急事態が発生した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。 Business Continuity Plan の頭文字。</p>
<p>■ 業務指標（PI） ぎょうむしひょう</p>	<p>水道事業の経営状況や施設整備状況等を全国共通の算定式を用いて算出するもの。客観的な数値で評価することを目的に策定されており、事業経営の透明性の確保や業務の効率化などに活用されている。 Performance Indicator の頭文字。</p>
<p>■ 緊急貯水槽 きんきゅうちよすいそう</p>	<p>平常時は水道管路の一部として機能し、地震等の非常時には消火用および飲料用として貯留水を利用できる水槽。</p>
<p>■ 計画一日最大給水量 けいかくいちにちさいだいきゅうすいりょう</p>	<p>一日に使用される水道量を計画したもの。一日最大給水量はその実績。一日平均給水量はその平均実績。</p>
<p>■ 計画給水人口 けいかくきゅうすいじんこう</p>	<p>水道事業許可にかかわる事業計画において定める給水人口。</p>

<p>■ 経常収益 けいじょうしゅうえき</p>	<p>収益的収支中、料金収入などの本来の営業活動から生じる営業収益と、他会計からの繰入金や預金利息などの本来の営業活動以外の活動によって得られる営業外収益の合計。</p>
<p>■ 経常損益 けいじょうそんえき</p>	<p>経常収益から経常費用を差し引いたもの。</p>
<p>■ 経常費用 けいじょうひよう</p>	<p>職員給与費や材料費などの維持管理費・減価償却費などの本来の営業活動から発生する営業費用と企業債利息などの本来の営業活動以外の活動によって発生する営業外費用の合計。</p>
<p>■ 欠損金 けつそんきん</p>	<p>収納が不能となった金額。</p>
<p>■ 減価償却費 げんかしょうきやくひ</p>	<p>固定資産の原価を費用として、その利用各年度に合理的かつ計画的に負担させる会計上の処理または手続きを減価償却といい、この処理または手続きによって、特定の年度の費用とされた固定資産の原価額を原価償却費という。</p>
<p>■ 減債積立金 げんさいつみたてきん</p>	<p>企業債の償還に充てるための積立金。</p>
<p>■ 県水 けんすい</p>	<p>埼玉県営水道（水道用水供給事業）の略称。</p>
<p>■ 建設改良費 けんせつかいるょうひ</p>	<p>営業規模の拡充を図るために要する諸設備の建設整備等のかかる費用。資本的支出の一部。</p>
<p>■ 広域化 こういきか</p>	<p>行政界にとらわれない水道事業のあり方。広域化により、個別水道事業間の格差の是正、安全性・効率性等の向上が見込まれる。</p>
<p>■ 公営企業会計 こうえいきぎょうかいけい</p>	<p>企業の経済活動を記録、計算、報告等するため継続的に適用する会計手続きで、組織的記録方法として複式簿記を採用する。官公庁会計のような現金主義会計と異なり、企業の経営成績及び財務状態を正確に把握することに適している。</p>
<p>■ 鋼管 こうかん</p>	<p>強度に富み伸縮性も大きいため、大きな内・外圧に耐えることができ、軽量で加工性も良い水道用管。錆びやすいため防食塗装が必要となる。</p>
<p>■ 更新 こうしん</p>	<p>既存の水道施設や設備の全部または一部を撤去し、新しい施設や設備を設けること。</p>

## さ行

<p>■ <b>事業認可</b> じぎょうにんか</p>	<p>水道事業を經營しようとする際に、厚生労働大臣又は都道府県知事から受ける認可(水道法第6条第1項、第26条、第46条)。</p>
<p>■ <b>自己水源</b> じこすいげん</p>	<p>受水以外の取水の権利を有する水源(地下水・伏流水)。</p>
<p>■ <b>資産</b> しさん</p>	<p>水道事業が有する財貨及び権利で、固定資産、流動資産、繰延勘定に区分される。</p>
<p>■ <b>施設</b> しせつ</p>	<p>浄水場や配水池等の池状構造物や管理棟などの構造物をいう。</p>
<p>■ <b>自然流下方式</b> しぜんりゅうかほうしき</p>	<p>高所から低所に自然圧(標高差)を利用して水を配水(送水)する方式。</p>
<p>■ <b>資本的収支</b> しほんてきしゅうし</p>	<p>収益的収入及び支出に属さない収入、支出のうち、現金の収支を伴うもので、主として建設改良及び企業債に関する収入及び支出をいう。</p>
<p>■ <b>収益的収支</b> しゅうえきてきしゅうし</p>	<p>企業の経常的經營活動に伴って発生する収入と、これに対応する支出をいう。</p>
<p>■ <b>受水</b> じゅすい</p>	<p>水道事業者が、水道用水供給事業から浄化した水(水道水用水)の供給を受けること。</p>
<p>■ <b>取水(施設)</b> しゅすい(しせつ)</p>	<p>水源から原水を取ること(取る施設)。</p>
<p>■ <b>取水制限</b> しゅすいせいげん</p>	<p>異常な少雨や涸渇などによってダムその他の淡水を蓄える施設の貯水量が減少した時に、河川から取水する量を減らすこと。</p>
<p>■ <b>受水費</b> じゅすいひ</p>	<p>水道事業者が、水道用水供給事業から浄化した水(水道水用水)の供給を受けること水道用水供給事業から浄化した水(水道水用水)の供給を受ける費用。</p>
<p>■ <b>浄水(施設)</b> じょうすい(しせつ)</p>	<p>原水を飲用に適するように処理すること(処理する施設)。</p>
<p>■ <b>浄水場</b> じょうすいじょう</p>	<p>浄水処理に必要な設備がある施設。原水水質により浄水方法が異なるが、浄水場内の施設として、沈砂池、薬品沈澱池、ろ過池、薬品注入設備、浄水池、排水処理施設、管理室などがある。</p>

<p>■ <b>上水道事業</b> じょうすいどうじぎょう</p>	<p>一般の需要に応じて水道水を供給する事業で、計画給水人口が、5,001人以上のものをいう</p>
<p>■ <b>消費税及び地方消費税 資本的収支調整額</b> しょうひぜいおよびちほうしょうひぜい しほんてきしゅうしちようせがく</p>	<p>消費税の仮払金（資本的支出）が仮受金（資本的収入）より多い時の差額。資本的収支の不足額への補てん財源となる。</p>
<p>■ <b>人口ビジョン</b> じんこうびじょん</p>	<p>狭山市人口ビジョン。 平成 28 年 3 月に狭山市が作成した将来人口の予測。</p>
<p>■ <b>新水道ビジョン</b> しんすいどうびじょん</p>	<p>平成 25 年 3 月に厚生労働省が策定したもので、「水道ビジョン」を全面的に見直し、50 年後、100 年後の将来を見据えた新しい水道ビジョン。</p>
<p>■ <b>水源</b> すいげん</p>	<p>用水（農業用水、工業用水）や水道（上水道、簡易水道）として利用する水の供給源。</p>
<p>■ <b>水質基準</b> すいしつきじゆん</p>	<p>水質について、水の使用目的ごとに決められた基準。法律により、水道水・排水・放流水・遊泳用プールなどについて定められている。水道水は、水道法により守るべき水質の基準が定められている。</p>
<p>■ <b>水質検査</b> すいしつけんさ</p>	<p>水道水を水道法に基づく水質基準項目の基準値や塩素消毒の基準に適合しているかどうかを判定するための検査。</p>
<p>■ <b>水道事業</b> すいどうじぎょう</p>	<p>一般の需要に応じて、計画給水人口が 100 人を超える水道により水を供給する事業をいう（水道法第 3 条第 2 項）。計画給水人口が 5,000 人以下である水道により水を供給する規模の小さい水道事業は、簡易水道事業（同法第 3 条第 3 項）として特例が設けられている（同法第 25 条）。計画給水人口が 5,000 人を超える水道によるものは、慣用的に上水道事業と呼ばれている。</p>
<p>■ <b>水道施設</b> すいどうしせつ</p>	<p>水源、取水、浄水、配水に係わる施設、設備及び管路。</p>
<p>■ <b>水道ビジョン</b> すいどうびじょん</p>	<p>平成 16 年 6 月に厚生労働省が水道の目指すべき方向性について示したもので、水道のあるべき将来像について、その実現のための施策や工程が示されている。</p>
<p>■ <b>水道普及率</b> すいどうふきゅうりつ</p>	<p>現状における給水人口と行政区域人口の割合。</p>
<p>■ <b>水利権</b> すいりけん</p>	<p>河川の流水、湖沼の水などを排他的に取水し、利用することができる権利。</p>

■ SWOT 分析 すわつとぶんせき	事業分析法の一つ。ある事業について、強み・弱み・機会・脅威を判定し、経営課題を導き出すこと。
■ 送水(施設・管) そうすい(しせつ・かん)	水道水を配水拠点(配水池)へ送ること(送る施設・送る管)。
■ 損益勘定 そんえきかんじょう	経常的経営活動に伴う収支(収益的収支を参照)。

## た行

■ 耐震化 たいしんか	施設の耐震設計や耐震管の採用、システム面では基幹施設の分散や水源間の相互融通を可能とする連絡管の整備、電源の異系統化や複数化、自家発電装置の設置、緊急時対応の無線の整備、非常用の飲料水を確保するための緊急遮断弁の設置などがあげられる。
■ 耐震管 たいしんかん	地震の際でも継ぎ目の接合部分が離脱しない構造となっている管。
■ 耐震診断 たいしんしんだん	所定の耐震性能の有無について診断すること。
■ 耐震性貯水槽 たいしんせいちよすいそう	地震が発生しても破損しない耐震、耐圧設計となっている飲料水貯留施設。水道管内の水量や水圧の異常を感知して自動的に貯水に切替わる機能を持っており、ここに貯えた水道水は応急給水に利用される。
■ 耐震継手 たいしんつぎて	地震などの際の地盤の変動に対して順応できる大きな伸縮性と離脱防止機能を有した継手(接合部分)のこと。
■ 耐震適合性のある管 たいしんてきごうせいのあるかん	耐震管以外でも耐震性能があると評価できる管で、地盤等の管路の布設条件に基づき判断される。
■ 耐用年数 たいようねんすう	固定資産が、その本来の用途に使用できると見られる推定の年数。固定資産の減価償却を行うための基本的な計算要素として、取得原価、残存価額とともに必要となる。
■ ダウンサイジング だうんさいじんぐ	単に水道施設を小さくするというだけではなく、将来的な人口減少に対応し、水道システム全体としての余裕度やリスク管理の視点でも検討が必要となる。
■ ダクティル鑄鉄管 だくたいるちゅうてつかん	鑄鉄に含まれる黒鉛を球状化させたもので、鑄鉄に比べ、強度や靱性に豊んでいる。施工性が良好であるため、現在水道用管として広く用いられている。

■ 濁度 だくど	水の濁りの程度を表す。水道では、原水の濁度は浄水処理に大きな影響を与え、浄水管理上の指標となる。
■ 鑄鉄管 ちゅうてつかん	鑄鉄、炭素(含有量 2%以上)、ケイ素からなる鉄合金(鑄鉄)で作られた管。
■ 長期前受金戻入益 ちようきまえうけきんれいにゆうえき	固定資産取得のために交付された補助金などについて、減価償却見合い分を収益化したもの。
■ D I P でいーあいぴー	ダクタイル鑄鉄管を表す記号。Ductile Iron Pipe の頭文字。A形・K形・G X形・N S形は継手構造の種類で、G X形・N S形は耐震継手構造。
■ 投資試算 とうししさん	経営戦略の中心となる「投資・財政計画」の構成要素のうち、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画のこと。
■ 導水(施設・管) どうすい(しせつ・かん)	取水した水を浄水場へ送ること(送る施設・送る管)。
■ 独立採算制 どくりつさいさんせい	使用水量に応じて支払っていただく料金収入で、すべての経費をまかなうもの。

## な行

■ 内部留保資金 ないぶりゆうほしきん	減価償却費などの現金支出を伴わない支出や収益的収支における利益によって、企業内に留保される自己資金のこと。
------------------------	---

## は行

■ 配水(施設・管) はいすい(しせつ・かん)	水道水を需要者に配ること(配る施設・配る管)。
■ 配水支管 はいすいしかん	配水管のうち、給水管の分岐がある支線管路。本市では口径 300mm 未満の配水管を配水支管としている。
■ 配水池 はいすいち	浄水処理された水道水を貯留し、管路網を通して給配水するための拠点施設。



<p>■ <b>配水本管</b> はいすいほんかん</p>	<p>配水管のうち、給水管の分岐がない基幹管路。本市では口径 300mm 以上の配水管を配水本管としている。</p>
<p>■ <b>表流水</b> ひょうりゅうすい</p>	<p>河道にそって流れる水を指し、主要な水源の一つのこと。</p>
<p>■ <b>pH</b> ぴーえいち</p>	<p>水素イオン指数のこと。pH = 7 が中性で、pH の値が中性よりも小さくなればなるほど酸性が強く、逆に pH の値が中性よりも大きくなればなるほどアルカリ性が強い。</p>
<p>■ <b>PC造</b> ぴーしーぞう</p>	<p>配水池等の構造物の形式の一つ。Prestressed Concrete の頭文字。</p>
<p>■ <b>PDCAサイクル</b> ぴーでいしーえーさいくる</p>	<p>生産管理や品質管理などの管理業務を計画通りスムーズに進めるための管理方法の一種で、計画、実施、検証、見直しを繰り返すことでより良いものを目指すことができる。</p>
<p>■ <b>VP</b> ぶいびー</p>	<p>塩化ビニール管を表す記号。Vinyl Pipe の頭文字。</p>
<p>■ <b>深井戸</b> ふかいど</p>	<p>被圧耐水層から取水する井戸のこと。深さ 30m 以上のものが多く 600m 以上に及ぶものもある。</p>
<p>■ <b>伏流水</b> ふくりゅうすい</p>	<p>河床や旧河道などに形成された砂利層を潜流となって流れる水のこと。</p>
<p>■ <b>包括的業務委託</b> ほうかつてきぎょうむいたく</p>	<p>窓口業務、維持管理業務、浄水施設の運転・管理業務等の水道事業業務について、職員が行っていた業務を包括的に民間に委託すること。</p>
<p>■ <b>法定耐用年数</b> ほうていたいようねんすう</p>	<p>地方公営企業法施行規則で定められている耐用年数のこと。経理上の基準であり、実際に使用できる年数は実情に応じて変動する。</p>
<p>■ <b>ポリエチレン管</b> ほりえちれんかん</p>	<p>プラスチック管の一種。軽量で耐寒性、耐衝撃性に優れるとともに、長尺物であるため継手数が少なくすみ、施工性に優れている。また他の管種に比べて地盤変動に対する影響が少ないなどの特徴を有している。</p>
<p>■ <b>ポンプ</b> ぽんぷ</p>	<p>外部からの動力供給により連続して液体にエネルギーを与える機械。ポンプを運転することにより液体を低所から高所へ移動したり、低圧のものを高圧へ圧力を高めることができる。</p>
<p>■ <b>ポンプ加圧方式</b> ぽんぷかあつほうしき</p>	<p>ポンプで加圧して、低所から高所に水を配水（送水）する方式。</p>

## ま行

---

- **水安全計画**  
みずあんぜんけいかく  
安全な水の供給をより確実にする水道システムを構築するため、食品業界で導入されている衛生管理手法（HACCP）を用いて実施する水道システム管理手法。
- **民間活用**  
みんかんかつよう  
水道事業業務について、個別委託又は包括的委託により民間が有するノウハウ及び資金を活用すること。

## や行

---

- **有形固定資産**  
ゆうけいこていしさん  
企業が 1 年を超えて使用する資産で形のあるもの。土地、建物、構築物、機械装置等をいう。
- **有効水量**  
ゆうこうすいりょう  
メータで計量された水量など使用上有効とみられた水量。
- **有収水量**  
ゆうしゅうすいりょう  
浄水場で処理し、配水施設によって配られた水のうち、実際に料金徴収の対象となった水量。
- **有収水量密度**  
ゆうしゅうすいりょうみつど  
給水区域面積 1 ヘクタール当たりの年間有収水量のこと。水道事業の経営を左右する大きな要因の一つとして、地理的な条件による差異がある。地理的分類基準には人口密度や有収水量による密度があるが、人口密度では商業施設等事業所の立地条件が全く反映されないために、有収水量密度が指標として用いられる。
- **有収率**  
ゆうしゅうりつ  
有収水量を給水量で除したものを指し、配水した水に対する料金徴収の対象となった水の割合を示す。

## ら行

<p>■ <b>ライフライン</b> らいふらいん</p>	<p>市民の生活に欠かせないインフラ。水道、電気、ガス、下水、公共交通機関、電話、インターネット等を指す。</p>
<p>■ <b>利益余剰金</b> りえきよじょうきん</p>	<p>企業活動で得た利益のうち、分配せずに社内に留保している額のこと、利益準備金とその他利益剰余金で構成される。</p>
<p>■ <b>料金回収率</b> りょうきんかいしゅうりつ</p>	<p>供給単価と給水原価との関係を見るものであり、料金回収率が100%を下回っている場合、給水にかかる費用が水道料金による収入以外に他の収入で賄われていることを意味する。</p>
<p>■ <b>レベル1地震動</b> れべるいちじしんどう</p>	<p>供用期間中に数回発生する大きさの地震動（中規模地震）。</p>
<p>■ <b>レベル2地震動</b> れべるにじしんどう</p>	<p>供用期間中に発生する確率の極めて小さい強い地震動（大規模地震）。</p>
<p>■ <b>老朽管</b> ろうきゅうかん</p>	<p>老朽化した水道管。老朽管は破損しやすく、漏水による有効率の低下に限らず、道路陥没・破損等の二次被害に及ぶ可能性がある。</p>
<p>■ <b>漏水</b> ろうすい</p>	<p>水道管の劣化、破損などによって水が漏れ出ることをいう。漏水には、地上に漏れ出して発見が容易な地上漏水と、下水管などに流入して地下に浸透するように発見が困難な地下漏水とがある。管の材質、老朽度、土壌、腐食、地盤沈下、施工不良、または舗装厚、大形車両化による路面荷重、他工事における損傷など、あらゆる要因が漏水を発生させる原因となる。</p>

## 第2次狭山市水道ビジョン



発行日 平成30年3月

発行 埼玉県狭山市

編集 狭山市上下水道部水道施設課

〒350-1380

埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号

電話 04-2953-1111 (代表)

FAX 04-2953-1434 (直通)

URL <http://www.city.sayama.saitama.jp/>

